

きぼうの虹

KIBO NO NIJI

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218



農学部
 教職員写真同好会 伊藤仁浩

主な記事紹介

- 二面・三面 湯けむりから見える現代人の健康 第5回 二酸化炭素(炭酸泉)の話…つぎ
- 四画 北大生協教職員委員会の活動を振り返って
- 六画 心の健康を考へる② 働き方改革と心身の健康
- 七画 図書館へ行こう 第16回

この度、2014年第6回理事会において承認いただき2015年1月21日付けで専務理事に就任いたしました岸本(前 北大生協常務理事)と申します。

生協会館店のオープン
 北大生協は今年で68年目を迎えております。一昨年の総代会では、老朽化してきた生協会館の建替えについて7億強の投資を行い5年間で経常剰余を黒字にする計画を進めることについて組合員の皆様よりご承認をいただきました。そして北海道大学様のご協力のおかげで、学内に仮設店舗や事務所を設置させていただきながら6月より半年間の閉店の後、昨年1月に44年ぶりに新しい生協会館店舗をオープンいたしました。その後、3月には北大生協マンションも完成し36名の学生・教職員の方が入居され、北大生協として新たな歴史の一步を歩みだしました。

内外での様々な環境や生活の場面での変化があり事業への影響が多々ありました。食堂部では食材の原価が上がる中、仕入れ食材の変更やメニューの差替え、食材の内部調理によるコストダウンを行い、値上げをせず提供価格を据え置いています。また購買部では営

震工事が進められてきており、2015年は中央厚生会館の耐震工事計画も検討されていると伺っております。年々、学生の生協利用動向に変化があり、店舗利用者数の構成比では大学南方系が減少し、中央から北方での利用が拡大してきています。北大生協では、大学の福利厚生施設運営に67年にわたって関わって培ってきたノウハウとアイディアの他、何よりも組合員である学生と教職員の利用動向を知り尽くしているからこそ実現できるアメニティが提供できると自負しております。今後、大学関係部署と施設調整をしていく上で、組合員の皆様の要望等を反映させていただけるようすすめてまいります。

生協の目指すこと
 最後にありますが、本年も、大学構成員の皆様の声や期待、ご利用に応え、身近で役に立つ優しい生協づくり、大学の福利厚生の一部を安心してお任せいただける生協づくりを目指し、そのために学生生活の変化や組合員の変化を捉え、大学様と協力しながら改善につなげていきたいと考えております。役員一同奮闘していく所存でございますので、皆様のご協力ご厚情を賜りますようお願いいたします。

このような時期に専務理事という大役を仰せつかり正に身の引き締まる思いであります。

2014年度生協内外の状況
 2014年度は、生協会館の建替えに伴う設備投資や、消費税率が引き上げになった4月以降、3月以前の駆け込み需要の反動や、学外業者との価格の競争も日増しに強まってくる等学

業時間の見直しや理学部と文系棟にスマールショップ(小規模店舗)を設置し利用拡大を図り、多くの学生・教職員の皆様のご利用とご協力により予定通りの決算で終了する見通しでございます。

生協の大学への関わり
 北大生協会館店の建替、完成と進めてきた2014年度ですが、大学でも学部施設の耐

Opinion!

就任のご挨拶

北海道大学生協同組合
専務理事

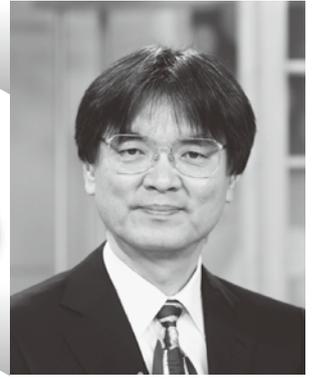
岸本 敬一

北大生協は今年で68年目を迎えております。一昨年の総代会では、老朽化してきた生協会館の建替えについて7億強の投資を行い5年間で経常剰余を黒字にする計画を進めることについて組合員の皆様よりご承認をいただきました。そして北海道大学様のご協力のおかげで、学内に仮設店舗や事務所を設置させていただきながら6月より半年間の閉店の後、昨年1月に44年ぶりに新しい生協会館店舗をオープンいたしました。その後、3月には北大生協マンションも完成し36名の学生・教職員の方が入居され、北大生協として新たな歴史の一步を歩みだしました。

シリーズ 湯けむりから見える現代人の健康

第5回

二酸化炭素泉(炭酸泉)の話…つづき



北海道大学大学院教育学研究院教授 大塚吉則

北海道の二酸化炭素泉(炭酸泉)で一番のお勧めはニセコの薬師温泉でした。「でした」と、過去形で書いたのは薬師温泉が閉鎖されたからです。第5回目を執筆するに当たってネットで確認していたところ、昨年5月に雪のため屋根が倒壊して閉館になったそうです。まさに、秘湯と言う名にふさわしい旅館でした。日帰りで訪れたときに、湯船の底から湧き出てくる温泉に感激した思い出があります。

旧い成分分析書では炭酸泉とはなっていないませんが、皮膚に付着した気泡から、二酸化炭素ガス(炭酸ガス)が含まれているのだと想像できません。ところで、薬師温泉以外の道内の炭酸泉というと、下川の五味温泉、愛別の協和温泉、歌登の朝倉温泉などがあります。いずれも10℃前後です。加温するか、お湯割りにして入浴に適する水温まで上げています。したがって、湧き出した時に存在してい



写真1 炭酸ドライバス(チェコ)

た炭酸ガスは減っているのですが、それでも皮膚表面に気泡が付くそう(残念ながら五味と協和は未経験、朝倉は手を入れただけ)、炭酸泉の効能が残っていることは間違いないと思います。因みに薬師温泉は39℃です。底から湧いてくる源泉のままOKだったのです。

さて、末梢血管拡張作用のある炭酸泉の特徴は前回お話ししたように、血流量が増えて体が温まる。血圧が下がるなどですが、温泉に入るには浴槽などの設備が必要です。また、冷鉱泉の場合が多く、入浴に適した温度まで水温を上げなければなりません。そこでお

湯のない状態、つまり炭酸ガスのみを利用した炭酸ドライバスというのが考案されておりました。昨年9月チェコで初めて体験してきました(写真1)。ビニール袋に頭だけ外に出して入り、炭酸ガスを袋に注入してもらいます。注入の際に首筋から炭酸ガスが漏れてきて顔に吹きかかり、「中毒死するのでは」と一瞬不安に思ったのですが無事注入終了。そのまま20分間ほど横になっていると、何となく体が温かくなってきた感じがしました。物が物足りなく、炭酸泉に浸かりたくなくなりました。翌日、炭酸泉浴を行っている施設に出かけて体験してきました。水温36℃で、だだっ広

いじわるじいさん

十五年戦争の本を読んでいる。『人間の条件』(五味川純平著)には、中国の鉱山や前線のさまざまな場面に酷い死がある。主人公は良心を試され、傷だらけになって闘う▼『もうひとつの満洲』(澤地久枝著)は、多くは抗日ゲリラだったという「匪賊」の中心人物の壮絶な人生を辿る記録だ。中国人にとつて「満洲」はどんな所だったかを教えられる▼『従軍看護婦』(千田夏光著)は、戦場の看護婦の実態を手記と証言で明らかにした。兵士と共に死線をさまよって、爆死、敗走中の水没死、餓死…。巻末の遺芳録で一人一人の最期を読む▼小説「蝗(いせ)」(田村泰次郎作)は部隊の移動中の出来事を描く。朝鮮人女性が兵士を「慰安」しながら同行する旅の凄惨な姿▼これらを知らなかった訳ではない。本や映画で衝撃を受けた覚えもある。それなのに私の記憶は遠い過去のよう薄れていた。それが近頃の政治状況のせいだろうか。今回の読書は今までになく気持ち揺さぶられる▼作家は戦争の真実を伝えたく本を残した。その思いをどこまで受け止められるか心もとないが、将来、戦場の惨禍を見ない為の一歩として、残してくれた本を開く。(今日子)



写真2 炭酸ガス注射 (チェコ)



写真3 ソース (SOOS) と呼ばれる泥炭地に泡状に噴出している炭酸ガス (チェコ) ゴーゴーと吹き出す音が鳴ってました。

い部屋で1人用の浴槽ですの
で、何だか寛ぐことができま
せんでした。お風呂は日本式
がやはり一番快適です。
もう一つ炭酸ガスの使用法
で面白いのを紹介しましよ
う。これもチェコですが、肩
凝りで、凝って痛い部分に炭
酸ガスを注射しているのだ
す。まるでツボに鍼を打つ
ているようですが、彼らはツボ
を知らないの、純粹に凝っ
ている部分の血流を改善し
て、痛み物質を洗い流し、凝

りを改善させる目的なの
でしょう(写真2)。
チェコではSOOS(ソー
ス)と呼ばれる泥炭地へ案内し
湧き出ている泥炭地へ案内し
てもらいました。いたるところ
でブクブクと泡ができてお
り、これでイオウの臭いがあ
れば、地獄谷の熱湯かと間違
えるのですが、ブクブクは沸
騰のためではなく、炭酸ガス
が発生しているからなのです
(写真3)。
炭酸泉は日本には数少な

く、一般に水温が低いので加
温しなければ入浴に適しませ
んが、技術の発展とともに、
その効能が人工的に造り出
せるようになってきました。
スーパー銭湯等で人工炭酸泉
の浴槽が設置されるようにな
り、大勢のお客で賑わってい
ます。確かに人工炭酸泉もい
いのですが、天然の炭酸泉に
は、他の微量元素も含まれて
おり、肌触りも異なり、でき
れば自然の恵みに浸かりたい
ものです。

〜湯けむりから見える現代人の健康〜 大塚吉則先生講演会

「きぼうの虹」352号から連載していただいている大塚吉則先生の講演会を2014年12月4日(木)生協会館多目的ホールで開催しました。



当日は大変冷え込む中、34名の方が参加されました。テーマは「温泉に入って健康になるう!」。「温泉」という気持ちの和むテーマのせいか、会場は終始なごやかな雰囲気でした。大塚先生のお話も楽しく、また温泉入浴のまちがった方法などの解説もあり、今まで当然のようにやってきたことが体にとって良くないことだとわかり驚きました。

最後の質問タイムでは次々と質問があり、温泉を

テーマに研究されているのか、教員の方や学生さんからは専門的な内容のほか、温泉とお酒に関する質問などもありました。他にもまだ質問が続きそうでしたが、講演会の時間もオーバーしていたので終了となりました。

協賛いただいた大塚製菓からのポカリスエットのプレゼントも、講演中の水分補給にちょうど良く喜んでいただけたようです。

参加された方からは、「具体的でわかりやすかった」「楽しい講演会だった」「また聞いてみたい」との感想をいただきました。





北大生協教職員委員会の 活動を振り返って

北大生協監事会議長・教職員委員会

大学院保健科学研究院 機能回復学講座 高橋 光彦

北大生協監事会議長の高橋光彦先生が、2014年度をもって生協の役員を退任されます。先生は、北大に1985年赴任され、1992年教職員総代を皮切りに1999年に理事、2000年に教職員委員として長く生協の活動をされました。退任にあたり、これまでの生協の活動を雑感を交えて振り返っていただきました。

昭和60年に北海道大学に赴任し、かれこれ30年経過してこの時期、学生を送り出し、学生を迎えるの2014年度末を迎えています。いつしか自分の番になったのだなどと思いつつ、次なるチャレンジと身辺整理に備えるこの頃です。当時、赴任し、大学生協の食堂・売店・図書・購買・旅行部の規模の大きさにびつくりし、さすが北大と感じ入りました。大学生協で行われていた日帰りイベント「盤溪で釣り」とジンギスカンは確か、参加費は1000、2000円くらいと格安の記憶があり、こんなことも生協がやるのかとびつくりし、楽しい一日を過ごしました。お世話役が生協の教職員委員会とは数年後にわかった次第。大学生協の仕組みも理解しないまま大学生活は始まりまし

た。ある日、学部の先生から、総代やらないかとお誘いがあり「月に一度、昼に、お弁当いただけ」というので、気楽にお引き受けし、次に医学部の知り合い教員から、他大へ移籍するので、生協教職員委員

会委員を頼むと、人と人とのつながりで生協との縁が出来ました。北大生協の特別な存在意義として、「自分達のくらしを守り、教育研究環境を豊かにしよう」ということを多くの意見をまとめながら実現しています。北大生協には年に一度行われる最高の議決会議である総代会、毎月行われる理事会、そして、理事会の要請に基づき、学生委員会、院生委員会、留学生委員会、教職員委員会が運営

されています。教職員委員会に關して言えば、北大、全道、全国の三層構造にそれぞれ委員会が設置されていて、北大の教職員委員会は月一回、全道は年に2回開催され、意見交流を行い、全国の会議では東京の全国大学生協連の杉並会館で年に4回前後行われていて、セミナー開催準備、各地域・大学の意見交換、小委員会（読書、平和、環境、食育など）活動が行われています。10年ほど前に全国会議に初参加したとき、自分の大学も含めての3層構造の委員会がすべて行われていると思っ

たら、所属大学に教職員委員会があるのは全国206の加盟生協の内、10生協前後という状況。北大教職員委員会は貴重な存在でもありましたし、全国の意見交換の場は貴重でもありました。全国教職員セミナー開催も4年ごとの開催が去年から2年ごとに変更されよ

うした教職員委員会の活動を支えてくれたのが、北大生協理事会室、北海道ブロック事務局、全国大学生協連事務局の生協関係者の皆様のご尽力によるものでした。改めて感謝する次第ですし、得られた体験を伝えておきます。

り活発化しています。特に去年は福島大学で「協同の原点に立ち帰る」をテーマに行われ、特に原発事故についての現況とこれからの方向性について地元関係者とも話せる機会があり非常に有益でしたが、終わりの見えない状況を忘れてはならないという思いがさらに強まりました。青々とした山とそこから排出される汚染土、そのネット情報では決して得られる



月に1度の教職員委員会でのひとこま

ることを願っております。大学の教職員定員削減、成果主義、国際化、予算減少、外部資金調達、4学期制の導入、卒業要件の厳格化など、教職員の取り巻く環境は常に変化していますが、北大の理念である、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」と、それをサポートする北大生協は貴重な役割を持ち、今後も大学のパートナーとして、人とのつながりを大事にしながら持てる場で活躍なさ

ることを願っております。



全国セミナーの福島大学生協食堂での懇親会

ことのない体験でした。

生協会館店新装OPENから 1年を振り返って



2014年1月 新生協会館店完成

生協会館ホールでの各種催し物

- 1月20日(月) … 新生協会館オープン！開店記念セール
- 1月29日(水) … 新生協会館ホールにて講演会 (TPP講演会)
- 3月 …………… 新入生向け新生活準備会場 (新入生センター)
- 4月～ …………… 各種企画会場 (公務員講座・司法試験答練、卒業衣装レンタルなど)
- 11月 …………… きぼうの虹フォトコンテスト作品展
- 12月 …………… 生協会館ホールにて講演会 (温泉で健康講演会)
- 12月祭 …………… 購買企画クイズチャンピオン
- 1月 …………… 一周年記念企画

昨年1月20日(月)に生協会館が新規オープンいたしました。

組合員のみなさまのご協力ならびにご利用に支えられ、一周年を迎えました。

ありがとうございます。

1階ではコンビニ機能、北大オリジナルグッズ、校費対応を含めたサービスカウンター機能と、パソコン・ソフトウェアなどの情報機器も取り扱っています。また各種保険の専門窓口も設けております。

毎日の食品などのご利用はもちろん、大学生活や研究室でのさまざまなご要望にお応えしています。毎月1万人以上のご来店をいただいています。

2階では教科書はもちろん、専門書も充実した書籍店舗と、資格試験やキャリア形成の各種講座などを扱うキャリアサポート店が、組合員の皆さまの勉学研究、スキルアップをお手伝いしています。

また各種催し物や企画スペースとして、1階に多目的ホールを設けました。

さまざまなイベントに活用しています。

3階4階は事務所機能となっています。なお環境面においては、照明や冷暖房システムを省エネ型に切り替えた効果で、電気使用量を旧会館店と比較して半減することができました。

オープンしてからも「こんなものは扱えませんか」「こういったこともおこなって欲しい」などさまざまなご要望をいただいています。可能な限りご要望にお応えするよう、職員一同努めてまいります。これからも組合員の皆さまのお役に立てる、組合員の皆さまのための生協会館となるようにがんばってまいります。今後ともよろしくお願いたします。



オープン当日の店舗前の様子



オープン当日のエントランス



新生活準備会場入口 会館店1階



新生活準備会場内の様子 多目的ホール



「きぼうの虹」フォトコンテスト作品展



「温泉と健康」講演会 多目的ホール



生協会館店一周年記念 抽選会会場

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

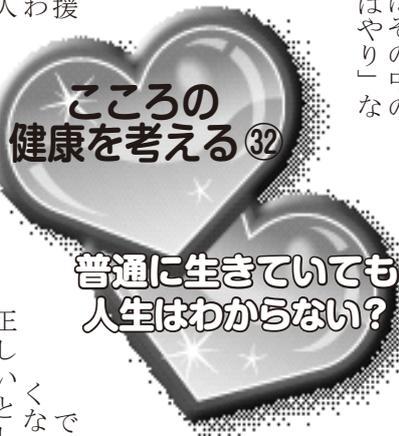
渡邊 誠



「心理学ばやりですね」……初めてそんな言葉を年長の大学の先生から聞いたのももう二十年以上も前のことになりました。こういう場合の「心理学」は、おおむね私の専門でもある臨床心理学のことを指しているように思います。臨床心理学というのは、簡単に言うと、さまざまな理由で生きづらさにおちいつている状態の人を支えようとすることにかかわる心理学、ということになるでしょうか。

最近「はやっている」と言われることもなくなりましたが、マス・メディアなどに心理学や隣接領域である精神医学の専門家が登場することはよくありますし、心理学関連の一般向けの書籍類もたくさん出ています。考えてみればこの連載だって、ささやかながら広い意味ではその中の一つかもしれません。当時は、「はやり」ならそのうち下火になるだろう、などと思っていたのですが、そうはならず、どうやらある程度定着したような感があります。社会的に認めてもらえるのは嬉しいと思う一方で、良いことなのか悪いことなのかと、一専門家としては複雑な思いもあります。

そもそも心理学にもとづく支援なるものは、さまざまに巡り合わせから支援を受ける側に立った人を、潜在的にしる人には自ら問題を乗り越えてゆく力が備わっているとの前提に立ち、それが十全に発現してくるよう支えるというものだ、私は思います。ですから、なるべく目立たず、そっと支えられるのが理想であって、ご本人が自分の力で乗り越えたと思ってもらえることをよしとします。まあ、究極の黒子みたいなものですね。脇役なのだから地味な服装をせよ、と書いてある専門書があるくらいです。そして最後の目的は、「必要とされなくなる」と。まあ、当たり前といえど当たり前ですが、そんなこともあってか、どうも心理学が日の当たる場所に出てくるというように、私は馴染めないものがあります。



ところで、初めて「心理学ばやり」という言葉を聞いた頃だっと思いましたが、心理学に対するこんな批判を読んだことがありません。普通の人が普通に生きていけばわかるようなことしか言っていない、と。私は、そりや当たつてるよな、と思いました。私が心理学を学び始めた三十数年前は、心理学の専門誌でも、当たり前のことを厳密に捉えるのが心理学だ、といったことが書かれていたのを目にすることがありました。しかし、ちょうどその頃からはないかと思うのですが、それまでは普通に生きていけばわかるようになっていたことが、わからなくなってきた、というように変わっていった気がします。言い換えれば、人が年齢を重ねてもあまり人間的に成熟しなかった、ということですね。近年における高齢者層における殺人などの重大犯罪の発生率の増加は、そのことを端的に示しているように、私には感じられません。

でも、この成熟しなくなったというところが、正しいとしても、その理由には私にはどうもよくわかりません。一九六〇年代に始まり近年ますます加速しつつある生活の利便化による対人関係の希薄化のせい、か、世代ごとの体験の違いが大きくなり過ぎて伝達と経験の蓄積が難しくなったということか、一種の代償なのか、などと考えてみたりはするのですが。

そして、そういう風にして、言ってみれば普通に生きていても「人生知」というべきものが身につくようになってゆきづらくなったその空白を埋めるために、心理学が求められているのではなからうか……。もしそうだとすると、これは幸福なことなのか不幸なことなのか、やっぱりなんとも複雑な気分になってしまいますね。

口座引落としご利用の皆様へ

平素は格別のお引立てに預り厚く御礼申し上げます。

口座引き落としをご利用の組合員のみなさまへ、2015年の引き落としスケジュールのご案内です。右記のスケジュールとなっておりますので、ご確認ください。

つきましては右記の口座引き落とし日に、ご指定の預金口座から振替させていただきますので、お手数でも毎月の引き落とし日の前日までに預金口座にご入金くださるようお願い申し上げます。ご確認のほど、どうぞよろしく願いいたします。

なお、毎月25日締で請求させていただいておりますが、12月はお正月休みの関係上誠に勝手ながら12月19日で締めさせていただきました。それにとまなま、12月20日以降のご利用代金につきましては1月分の請求（2月20日引落とし）とさせていただきますので何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも北大生協をご利用くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

2015年のスケジュール

購入日	口座引き落とし日
2014年12/20 ~ 2015年1/23	2015年 2/20
2015年 1/24 ~ 2/25	3/20
2/26 ~ 3/25	4/20
3/26 ~ 4/20	5/20
4/21 ~ 5/25	6/22
5/26 ~ 6/25	7/21
6/26 ~ 7/24	8/20
7/25 ~ 8/25	9/24
8/26 ~ 9/25	10/20
9/26 ~ 10/23	11/20
10/24 ~ 11/25	12/21
11/26 ~ 12/18	2016年 1/20

手当て引きの引き落とし

購入日	口座引き落とし日
2014年 11/16 ~ 2015年 6/15	2015年 7/21
2015年 6/16 ~ 2015年 11/15	2015年 12/21

2015年1月

北海道大学生生活協同組合 経理課
電話 011-726-9149 学内内線2978

図書館へ 第 16 回 行こう

日本近代化の足跡

— 開拓使外国人関係書簡 —

大学文書館員 井上 高聡



クラークの雇用契約書

(「開拓使外国人関係書簡」、附属図書館北方資料室蔵)

お雇い外国人

明治維新後、日本政府は国家の近代化を第一の政策課題とし、積極的に西洋最先端の科学・知識・技術の導入を図った。その際に、重要な役割を担ったのが「お雇い外国人」である。

お雇い外国人は、この時期の日本の公的機関や民間企業、各種の学校などが雇い入れた外国人である。その役割は様々で、組織・機関の顧問や監督者、技術指導者や技能者、教員・医師、船舶乗組員や農夫などに及び、広範な分野で活躍した。国籍も、イギリス、フランス、アメリカ、中国、ドイツ、オランダなどにわたり、一八六八〜一八八九年の二十二年間約二七〇〇名を数えた。その半数以上は、政府機関が雇

拓使も、一八六九〜一八八二年に七〇名のお雇い外国人を招聘した。中央諸省と比較し、開拓使のお雇い外国人に顕著な特徴は、半数以上をアメリカ人が占め、特に各分野の指導的立場をほとんどアメリカ人が担ったことである。そこには、アメリカをモデルとして、北海道「開拓」事業を進めようとした開拓使の政策意図を窺うことができる。

例えば、開拓使顧問として「開拓」事業のグラントデザインを描いた H・ケプロン、鉱山・地質調査に当たった B・S・ライマン、日本で三番目の鉄道である幌内鉄道敷設の指揮を執った J・U・クロフォード、牧畜技術を指導した E・ダンなどは、いずれもアメリカ人である。そして、札幌農学校教頭 W・S・クラークら初期の札幌農学校の外国人教師たちも、こうしたお雇い外国人である。

高給は本気度の表われ

お雇い外国人は概して極めて高給取りであった。例えば、ケプロンの年俸は一万円、クラークは七二〇〇円であった。現在の総理大臣に相当する太政大臣の地位にあった三条実美の年俸は九六〇〇円、開拓使の責任者である開拓長官(大臣に相当)の黒田清隆は六〇〇〇円であったから、大臣相当かそれ以上の厚遇であった。

現在の金額に換算することは難しいが、仮に当時の一円を五万円程度と見積もれば、ケプロンの年俸は五億円、クラークは三億六〇〇〇万円に及ぶ。クラークと共に札幌農学校の化学・数学の教員に就任した D・P・ペンハローは大学卒業した後の二十二才、年俸二五〇〇円は現在の一億円以上に当たる。北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手並の高給取りである。

お雇い外国人の高給は、彼らに対する期待の大きさを示す。そして、当時の開拓使が北海道「開拓」事業のために、そして日本政

府が近代化のために、如何に西洋の科学・技術・知識を必要としたか、その導入にどれだけ真剣かつ懸命に取り組んだかを窺わせる。

開拓使外国人関係書簡

附属図書館北方資料室は、「開拓使外国人関係書簡」約五〇〇〇点を所蔵している。お雇い外国人が開拓使の高官や実務担当者と交わした、雇用の条件や契約、仕事に関する届・報告・要請、購入する機械の仕様書や建物の設計図面、さらに私信などである。

書簡の多くは、仕事の条件への不満であったり、輸入したい植物品種の説明であったり、生徒の成績や素行の報告であったりといった極めて個別具体的な内容であり、歴史の劇的なムーヴメントを示すものとは必ずしも言えない。が、そうした書簡一点一点は、日本の近代化へ向けた一歩一歩の歩みを示唆していると言える。

附属図書館には、まだまだ、知の原石の鉱脈が眠っている。



開拓使初期のお雇い外国人、左から 2 番目がケプロン(大学文書館蔵)

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■食堂企画

1月13日から2月5日まで、北部食堂にて企画を行いました。テーマは「理由を知ってもらう」でした。普段食堂には組合員から様々な意見・質問が寄せられておられます。その中には、特に多く寄せられているものや、一度お答えしたものの再び寄せられた意見や質問があります。そういった意見・質問について十分に納得のいく形で返答をしようというのが今回の企画の趣旨でした。上記の期間中には、組合員の方から寄せられた意見に対する返答を、ポスターを掲示することで伝えました。また、1週間分のお食カレンダーと、組合員の方から寄せられた意見に対する返答を記載したピラを北部食堂におきました。期間中は多くの方が掲示物をご覧になる様子が見られ、組合員の方の意見・質問について返答することができました。

■健康チェック

昨年の12月15日から18日にかけて学生委員会では「健康チェック」という企画を行いました。大学生に自分の健康状態を知ってもらうための企画で、血圧・ストレス・体脂肪等を測定していただきました。15日・16日は工学部エントランスと人文社会科学総合教育研究棟、17日・18日は北部購買前で行いました。4日間で200人近くの方が参加くださり、多くの方に自分の健康について考えていただくことができました。なお、この企画の実施にあたっては器具の貸し出し等で保健センターにご協力いただきました。この場をかりてお礼申し上げます。

院生委員会

去る12月19日、北大院生がオススメする本の書評を募集し、紹介する、院生による院生のための書籍紹介冊子「ほんでないかい」が発行されました！各学院の掲示板、書籍部クラーク店・北部店などにて、2月20日（金）まで配布予定です。

ここでは、「ほんでないかい」の内容をちよこつとだけ紹介しちゃいます！

書評ページでは、学術書から小説、エッセイなど多岐にわたるジャンルの書評23本を掲載。誰もが知っている名著から、隠れた良本まで、さまざまな書評が楽しめます。各執筆者の個性あふれる文体・言葉選びも魅力！

書籍部紹介ページでは、書籍部クラーク店に潜入！モル・タロウ、読書マラソン・・・意外と知られていない書籍部の全貌が明らかに。また、明日からのあなたの通学路を変えるかもしれない、とっておきのマップ付き！

そして、特別企画ページでは、人気番組『水曜どうでしょう』の名ディレクター、藤村忠寿さんへのインタビューを掲載！「藤村さんの北大生活は？」「藤村さんにとって本とは？」「藤村さん語っていただきました。また、藤村さんのおすすすめ本の紹介も！以上、いつ読んでも、どこから読んでも楽しめます！そんな書誌となっておりまして！少しでも興味を持った方は、是非配布場所にいき、手に取ってみてください！



留学生委員会

■友達の国の料理を作って交流しましょう！料理交流会を開催！！
11月10日（月）韓国料理の調理試食交流会に17名が参加しました。

講師は韓国出身の留学生委員会メンバーで「トッポッキ（餅の煮込み）」と「キンパ（のり巻き）」を作りました。講師の見事な手さばきを見習いながら参加者全員がのり巻き作りにチャレンジしました。

試食会では感想を含めた自己紹介をしていただきました。「本場の韓国料理のように美味しいです！」「先生の教え方が上手で意外と簡単に巻けました」「みんなと作って楽しかった」など嬉しい感想があり、全員がおかわりをするほどでした。次回もまた違う国の料理で交流したいと考えています。



■生協紹介リーフレット《電子版》作成について

生協加入や店舗利用方法についてリーフレット電子版の編集作業を進めています。留学生のみならずにわかりやすい内容にしたいと考えています。完成予定は4月です。

教職員委員会

■教職員総代会議・・・学内7ヶ所、8月を除く毎月1回、昼休みを利用して開催しています。生協の営業報告のあと、教職員の皆様に利用者の立場から組合員の声をあげていただいています。1月は20（22日）に開催しました。

■教職員委員会・・・毎月1回、18時～19時に開催しています。総代会議で上がった組合員の声についての検討や、きぼうの虹の編集・発行について討議しています。1月は22日に開催しました。

きぼうの虹連載記事を執筆した大塚先生の講演会を12月4日に開催しました。詳細は3頁をご覧ください。委員会ではイベント等も随時企画しています。

■きぼうの虹・・・この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。企画会議を1月15日に開催し、学生達とも意見交換を行いました。

【編集後記】冬季や天候悪化した場合に食堂に行きにくくなるのか、文系棟や理学部のスモールショップの利用が多くなるようです。いっそメインストリート地下に歩行通路を設けて建物を全部つないでほしいなどと夢想することがある一方、そんなことをすればますます北大の迷宮化が進みそうです（当方、文系長屋ですらたまたまに迷います・・・）。

■各種連絡先・・・北大生協理事會室
(学内内線・・・3285)
seikyouto@coop.hokudai.ac.jp